

2027年度 事業計画書

2027年4月1日から2028年3月31日まで

特定非営利活動法人 ホロコースト教育資料センター

【1】事業実施の方針

本年度も、一人ひとりの命と人権を大切にする社会、共に生きることを重視した公正で平和な社会を目指して、教育活動に取り組む。第二次世界大戦とナチズムおよびホロコーストの歴史を教材の核としつつも、現代に至る差別や偏見および人間の尊厳が軽んじられた歴史について対話し、思考する場を提供する。歴史学の知を参照しながら学ぶ場をつくりながら、学習者一人ひとりの声が平等に尊重され、主体的に関わることができる、民主的な学びの場をつくることを目指す。

【2】事業計画

1. 教材の制作及び提供事業

1-1) オンラインミュージアムや動画教材を継続して公開する。

「アンネとまちよと希望のバラ」(2018年)

「ヤーノシュの物語」(2019年)

「若者対話：歴史を知るってどういうこと？」(2020年)

「世界に向かって叫べなかったことをわたしたちはここに埋める」(2022年)

「ぼくたちは新しい文化をつくる」(2023年)

2. 書籍・資料などの収集及び提供事業

2-1) 書籍や映画の紹介 -ブログやSNSを活用し、新着図書やおすすめ図書を紹介する。

3. 講演会、セミナー等の開催事業

3-1) 訪問授業

学校や地域団体、自治体等から依頼を受けて実施する。

3-2) 主催事業

オンラインおよび対面で広く誰でも参加できる学びの場を開催する。国連制定の「ホロコースト国際デー」である1月27日または前後にワークショップまたは講演会等を実施する。

3-3) スタディツアーおよび海外でのプログラム

ポーランドやドイツなどの史跡を訪ね、博物館での教育プログラムを体験し、歴史と記憶について学ぶスタディツアーを実施する。

3-3-1 大学生対象のツアー

大学生協との協働で2015年より実施している「テーマのある旅ーヨーロッパピーススタディツアー」を継続して行う。

3-3-2 教育関係者対象のツアー

5回目となる教育関係者を対象としたスタディツアーを実施する。博物館や史跡を見学するだけでなく、訪問先でのワークショップや対話を組み込んだプログラムを実施する。

3-4) 大学生インターン受け入れ

次世代のための教育事業として、約5か月の任期で、大学生をインターンとして受け入れ、ワークショップのアシスタントや広報の仕事を担当してもらいながら、NPOの教育事業を体験してもらう。

4. 人権・平和教育に関する普及啓発事業

4-1) Kokoroメルマガの発行

Kokoroの活動報告やイベントの案内などを掲載したメールマガジンを発行する。

4-3) SNS(ソーシャルネットワーキングサービス)とブログの活用

FacebookやTwitter、Instagramを活用して歴史を身近に、自分事を感じてもらえるような情報発信を行う。大学生インターンによるInstagram@kokoroyouthでの発信を継続して行う。

4-4) ポッドキャスト「Kokoroラジオ」

インターネットでの音声配信を行う。歴史を知識や情報として発信するのではなく、歴史や記憶そして現在の身近な社会や世界に思いをめぐらせる時間を届けたいという趣旨のもと、Kokoroの日常や、最近観た映画などをテーマに言葉を紡ぎあう記録を配信する。

<https://www.npokokoro.com/podcast>

5. 対話と探求を通じた学びの場の創造事業

ナチズムとホロコーストの歴史と記憶の学びを通して獲得したまなざしをもって、同時期の日本やアジアの歴史や、現代に至る差別や偏見および人間の尊厳が軽んじられた歴史について、対話し、共に思考をめぐらせる場を提供し、学びの継続を促す機会とする。ジェンダー平等や多文化を尊重し、一人ひとりの命と人権を大切にする社会、共に生きることを重視した公正で平和な社会を目指すコミュニティの創造を目指す。

- フィールドワーカー記念碑などの記憶の場を訪ねたり、博物館等施設を見学する。訪問先の候補は、人権啓発センター、高麗博物館、世田谷区立平和資料館、赤山地蔵下等から選定する。
- ワークショップ―フィールドワークの前後に問いづくりや哲学対話を取り入れる
- レクチャー―フィールドワークの前後または現地で専門家から講義を受ける